

## 教員養成教育認定（JASTE）

### 日本型教員養成教育アクレディテーション・システムの開発研究 第三期評価結果における教員養成機関の優れた取組について

#### 1. 大阪教育大学教育学部

##### （1）学生サポート体制の充実

学生ポータルサイト「大教UNIIPA」上のポートフォリオによる履修カルテを導入して、学生の学びの履歴を4年間にわたって記録しているだけでなく、履修カルテを用いての学生との個人面談は、非常に有効であると考えられる。「大教UNIIPA」を使いながら学生との相談を行い、4年間かけて学生を育てようとしている点は評価できる。

特に、履修カルテを使ったきめ細かな教職への指導が組織的に行われており、一人一人の学生に対して、指導教員とキャリア支援センターが協力してアドバイスをしていることも評価できる。その際、学生指導が大学としてのポリシーをもとに行われており、ていねいな個別指導をしようとしていることは、優れている点である。

##### （2）今日的課題にせまるカリキュラム

大阪教育大学教育学部では、「特別なニーズのある子どもの教育」や「教職のための英語」、「学校安全」等の今日的課題にせまる科目が必修化されるとともに、職業意識啓発のための科目を設置し、「豊かな教養」や「幅広い教養」を身につけ、「探求心」を育成できるようになっている。特に学校の安全や危機管理について基本的な対応ができるように必修とされているが、この「子どもの安全を保障すること」は、最近の社会情勢からも大きな課題となっていると言える。

##### （3）地域との支援を通じた実践力の涵養

教育実習運営において、教育実習専門委員会と附属学校園との合同会議で円滑に運営できるような体制ができている。また、地域の教育委員会との連携についても協定を結んでおり、各年次での教育現場実習の実施がなされている。さらに各教育委員会とは教育実習だけでなく、教員採用や大学への提言などの意見交換会も行われている。

大学と附属学校園はもとより教職教育研究センターにおいて各教育委員会からの人事交流など学校現場における実践経験の豊富な教師を講師として招いて、大学での授業を受け持ってもらっている。さらに地元、柏原市と地域連携協議会を開催し、連携事業に関する意見交換を行っている。また、府立高校教職コンソーシアムを立ち上げ校長等からの大学への提言をもらっている。さらに地域の各教育委員会幹部職員からも要望や意見をもらっている。

このように連携・協力体制の中で大学教育の見直しを図っていることが評価できる。

大阪教育大学教育学部評価報告書

(<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jastepro/html/project/pdf/2016/rep-osakakyoiku.pdf>)

大阪教育大学教育学部自己分析書

(<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jastepro/html/project/pdf/2016/ana-osakakyoiku.pdf>)

## 2. 帝京大学教育学部

### (1) 学生の実態に関する調査の実施とその組織的活用

学生の実態に関する調査が適宜実施され、分析結果が教授会やFD研修会等で周知、共有され、学部や講座、コースの運営や学生指導に効果的に活用されている。たとえば、学生生活実態調査は、履修単位数の上限設置のための議論に使用される等、適切な学修を組織するための検討資料として有効に活用され、改善のための体制が確立されている。また、進路希望調査はもとより、学生の実態把握のために、教職員が授業内で得た情報や学生のレポートを共有し、記録化することによって、学生の教職志望の維持や上昇に向けた取り組みを行っている。単に、調査を実施するだけではなく、結果を記録化し、情報の共有を行い、課題の分析を行った上で、改善のための議論を行っていることは、自律的な教員養成教育の実施という意味では評価できる点である。

### (2) 学生サポートの体制の充実と教職員の意識の高さ

所属教職員の高い意識の下で、教員養成教育に関する理念が共有され、組織的な調査に基づき、自律的な改善が図られており、こうした取り組みの一つひとつが学生に対する支援体制に反映され、その充実に寄与している。また、全学的な取り組みの「授業改善報告」、学部独自の「自己点検報告」に見られる教育実践自体を点検し、見直すシステムは、全教職員の取り組みとして位置づけられており、課題を共有することによって、情報を共有し、協働して改善するための努力が組織的に行われている点は評価できる。将来検討委員会の設置や、本「教員養成教育評価」を活用した学部教育改善の方針の共有などは、よりよい教育活動を目指した取り組みであり、絶えず、検証と改善を行うとともに、こうした取り組み自体をシステムとして体制化し、確立しようとする教職員の高い意識の結果として見ることができよう。こうした観点からも、自律的、協働的な教員養成教育の確立に向けたすぐれた取り組みとして評価したい。

### (3) 学生の主体的学修を促進するシステムの構築と支援

学部・学科・コースごとに、教員間での情報、及び認識の共有を図りつつ、適切な履修指導を行うとともに、学生による主体的な学習集団の確立に向けた支援を行い、学生の教師としての資質・能力を高めるよう取り組みを行っていることも特筆すべき点である。たとえば、メンターや自主ゼミの活動は、帝京大学教育学部生の主体的な学びの象徴的な姿であり、教

職員からも手厚い支援を受けている。とりわけ、初等教育学科においては、自主ゼミの活動が活発で、施設的な環境整備の進展も加わり、学部教育の活性化にも寄与しているという点は評価できよう。

#### (4) 現代的教育課題に対応した科目設定

帝京大学教育学部では、教職課程の充実に関わる取り組みとして、現在の学校現場の抱える複雑な課題に対応する力を幅広く養うための科目群の設置がなされている。たとえば、小学校教職課程においては、小学校の現状の課題に着目して、「小学校・特別活動の指導法」、「小学校・道徳の指導法」を必修とし、「道徳概論」や「学級経営論」などの科目を選択科目として設定し、履修を推奨している。これら選択科目群の設定は、免許法の基準を超えたものであり、現代の教育課題に対応する高い専門性を有する教員を養成しようとする取り組みの一環であり、自律的な教員養成システムの構築という意味では優れた取り組みであると評価できよう。また、こうした現代的な課題に対応する科目群の設置だけではなく、小学校教員としての基盤となる基礎学力の確認と補充、発展を図るために、1年次に国語・社会・算数・理科の「教育基礎研究」という科目を設置している。

帝京大学教育学部評価報告書

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jastepro/html/project/pdf/2016/rep-teikyo.pdf>

帝京大学教育学部自己分析書

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jastepro/html/project/pdf/2016/ana-teikyo.pdf>

### 3. 立命館大学文学部

#### (1) 「学校教育演習」による教員としての力量形成と個に応じた指導

3年次に独自の通年科目として「学校教育演習」を設けている。この科目は、教育実習を遂行するのに必要な能力の形成をねらった少人数（30名以内）の教職ゼミである。教育実習や学校教育における課題を見だし、解決に向けた学びを深めていくようになっていくところに特色がある。各担当教員の専門性を活かした多様な内容の演習で、個々の学生が課題意識に基づいて選択できるようになっており、ほぼすべての演習をワークショップ形式で行っている。また、担当教員によって「教職自己分析シート」（履修カルテ）を活用した個々の学生の教職への適性や意欲の把握がなされ、進路や教職に対する相談にも対応している。担当教員は、翌年度の「教育実習Ⅰ・Ⅱ（事後指導を含む）」まで同一クラスを担当し、一貫性及び継続性のある指導がなされている。

## (2) 立命館学校教育研究会を通じた、学生、卒業生、教員間の実践交流や研究活動

卒業生教員、教職希望学生、教職員等の交流、ネットワーク形成のために立命館学校教育研究会が2006年以来組織されている。この立命館学校教育研究会は学校教育の実践交流や研究活動を行い、日本の教育界に貢献することを目的としている。卒業後も若手教員として現場で勤務する中での課題や悩みを交流させる機会となる「若手教員懇談会」、ゲストを招いた「講演会」、学校現場の課題を発表・討論する分科会、ホームページやメールマガジンを通じた会員相互の連携や情報発信、教員採用試験合格者激励会の後援など多彩な活動を行っている。学校教育研究会の集まりは、教職を目指す学生や大学教員も参加し、学生、卒業生、教員が一堂に会して研究を進めている点が優れている。このようなことを契機に卒業生が卒業後も大学とつながり、教職を目指す学部生に対して先輩からの講話を行うなどの機会が設けられており、学生に対するキャリア支援となっている。

立命館大学文学部評価報告書

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jastepro/html/project/pdf/2016/rep-ritsumeikan.pdf>

立命館大学文学部自己分析書

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jastepro/html/project/pdf/2016/ana-ritsumeikan.pdf>